

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード		事業名			部名	産業建設部		
	17032		田園環境保全事業			課名	産業振興課 農業G		
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上				財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	08:自然との共生					款	06:農林水産業費
		施策の方向	02:森林・里山・農地の保全					項	01:農林水産業費
		戦略プロジェクト	-					目	03:農業振興費
事業予定期間		H 29	～	H -	年度	主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	農業者・集落営農組織
	目的	景観作物を一団の面積を有する農地に作付することで、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を推進するとともに、転作の推進・耕作放棄地の未然防止・農村景観の維持等に図ることを目的とする。
概要	市内に住所を有する者または集落営農組織を対象とし、中山間地域においては、30a以上、その他の地域においては100a以上の一団の面積を有する農地にれんげ・コスモス・菜の花・ひまわり等の対象作物を作付した場合、補助金を交付する。	

		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
年度計画	○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(3件/960a) ・景観作物のみ作付(単作)(7件/400a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR			○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(3件/980a) ・景観作物のみ作付(単作)(8件/450a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR		○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(3件/1000a) ・景観作物のみ作付(単作)(9件/500a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR	
年度実績	○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(2件/487a) ・景観作物のみ作付(単作)(5件/823a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR 4回						
事業の計画・実績	計画額	事業費	3,600千円	3,800千円		4,000千円	
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	3,600千円	3,800千円		4,000千円	
	予算額	事業費	3,520千円	3,800千円			
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	3,520千円	3,800千円		0千円	
	決算額	事業費 ①	3,509千円				
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	3,509千円	0千円		0千円	
	人件費	総人件費 ②	768千円				
		一般職員	768千円				
所要人員		0.10					
臨時職員等		0千円					
総コスト(①+②)		4,277千円					
受益者負担率		0.0%					

				平成29年度	平成30年度	平成31年度		
④指標	①	名称	補助金交付件数	活動	計画値	10	11	12
			年間の補助金交付件数		実績値	7		
					単位	件	件	件
	②	名称	作付面積	成果	計画値	1,360	1,430	1,500
			補助対象作付面積の合計		実績値	1,310		
					単位	a	a	a
	③	名称	市フェイスブック等を利用したPRの回数	活動	計画値	2	3	4
			市内外へ農地を保全することの意味や田園景観への取組を積極的にPRした回数		実績値	4		
					単位	回	回	回

⑤事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 H28年度に「田園景観推進事業」が終了し、農地の保全や耕作放棄地の発生防止に繋がる新たな事業を展開する必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 H29年度から「田園環境保全事業」を展開し、景観作物を作付けすることで、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を推進することを目的として、農村景観の維持に努めた。

評価		(判定)
⑥事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 市フェイスブックで制度のPRを行い、おおむね年度計画どおり作付けを行うことができた。 B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 景観作物の作付により、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に繋がった。また、フェイスブック等によりPRした効果もあり、制度への理解も深まった。 B まずまず成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 当事業に取り組む農家や営農組織の担い手が高齢化していることや、国の景観作物に対する交付金が廃止になり、またH29年度からの亀山市田園環境保全事業補助金交付要綱では、裏作の場合、補助金額が1/2に減額になったこと等から、農業経営の向上に繋がらず、当事業に取り組む意欲低下を招いている。	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 農業経営の安定化を支援しつつ、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に対する理解を得て、持続的な運営を支援するため、国の交付金や他の補助金制度などの活用を推進する。		
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 農業者の経営の安定を図るとともに、持続的な農地保全や耕作放棄地の発生防止に繋がる。		
	対応時期	平成30年度		

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 農業グループリーダー 鳥喰 教義
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉